

3 領域授業まとめ

※同じ科目でも、担当する先生によって、内容はガラッと変わります。

年度によって先生が変わることもあります。

先輩たちの話は参考程度に、「web シラバス」を読み込みましょう！

★裏ワザ1：気になる授業の初回は、とりま出る！先生の雰囲気も、課題の量も、成績の出し方も教えてくれるからおトクです。

★裏ワザ2：領域を選択する時は、このゼミに行きたい！だけでなく、どの領域の授業をたくさん取りたいかを考えることも超重要！！

キャリアデザイン学部 3 つのアプローチ



発達・教育キャリア領域（通称：発教（はつきょう））

学校にとどまらず、人の発達に関わること、心理学、社会学、生涯学習、就活、メディアなどについて研究している先生・ゼミが多数！マジメで柔らかい雰囲気の人が多いです。

発達・教育キャリア入門 A ※今年度先生の変更に伴い、内容変わる可能性大。

いじめや不登校、発達障害から、家族の形、恋愛に至るまで発達教育に関する問題の「あたりまえ」を疑う授業。

発達・教育キャリア入門 B

個人の学びや発達に関する基本的な知識を扱う。個人の生き方や社会のあり方について考察する授業。

発達・教育キャリア入門 C ※今年度先生の変更に伴い、内容変わる可能性大。

生涯学習と社会教育についてのキホンをキャリアデザイン学の視点で学ぶ。

発達・教育キャリア入門 D ※今年度先生の変更に伴い、内容変わる可能性大。

生涯学習に関わる施設（学校や公民館、博物館）の役割、地方自治体や国、企業・NPOの社会的な取り組みについて。

ビジネスキャリア領域（通称：ビジ）

*経済学 — 大きなお金の流れに着目する学問

サービスの提供やモノの購入、消費などお金の取引が発生する活動の理論・歴史を研究する

*経営学 — 企業活動における『組織』や『人』に着目する学問

販売計画の立て方、効率的な人材管理、会計の仕組みなど、企業が事業を運営するために必要な活動について研究する学問。病院や軍隊、NGO などさまざまな「組織」を扱うことも。

ビジネスキャリア入門 A = マクロ経済学。国単位での経済の動き。

ビジネスキャリア入門 B = ミクロ経済学。個人単位での経済の動き。

市場メカニズムの基礎、個人や企業の行動に関する理論を扱う。

ビジネスキャリア入門 C = 経営学の基礎（簡単な簿記も含む）、

ビジネスを行う組織（＝株式会社）の仕組み、歴史に着目。企業活動を総合的に理解する。

ビジネスキャリア入門 D = 企業の経営戦略の基礎

企業がどう考え、そう生き残り、成長していくのか。ビジネス社会での働き方、生き方を考えるために、企業戦略やその活動への理解に必要な初歩の知識を学ぶ。

ライフキャリア領域（通称：ライフ）

幅広い分野をカバー。文化・アートから、国際関係、心理学・社会学、家族論や、起業理論まで。学べるジャンルが広いだけでなく、先生たちのキャラクターも個性が爆発しがち。

ライフキャリア入門 A

現代社会における様々なコミュニティとキャリアの視点から、人生 100 年時代におけるライフキャリア論を考える。

ライフキャリア入門 B

『家族論』のベース。家族生活と関係した夫婦や親子の関係性に関するキャリアを扱う。

ライフキャリア入門 C

現代社会で「よく生きる」とは？を考える。人の職業キャリア以外の人生のキャリアにとって、ウェルビーイング（well-being）（＝幸せ）とは？を考える授業。

ライフキャリア入門 D 職業キャリアを中心にライフキャリアを考える。

地域において個人が市民としてキャリア形成をはかることをテーマに、「まちづくり」や「市民のキャリアデザイン」を見ていく。